科目名: 地域・在宅看護概論 Ⅰ	必修	1単位(45時間)
(Community and Home Care Nursing Ⅰ)		

履修年次/時期: 1年次 前期　　授業形態: 講義

主担当教員: 佐藤 光栄

主担当教員詳細: (実務経験:臨床看護師13年、地域在宅医療連携拠点相談員4年)地域で暮らす人々の理解に主眼を置き、地域と病院の移行を含め対象者の理解と「暮らす」ために必要な支援にはどのような課題や解決策があるか考えるよう授業を行う。

担当教員名: 相原 綾子

学修目的

地域で生活している人々の暮らしに着目し、地域で生活する人々とその家族の健康と暮らしを継続的に支援する基礎的能力を育成する。その中で、地域包括ケアシステムの促進と地域の連携について理解できる。

関連するCP: CP1　　科目No. KNI-134

この科目が目的としているDP

1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1)生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
	(2)医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	-
2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1)教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	◎
	(2)専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	○
	(3)社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○
3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1)多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
	(2)優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
	(3)看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	-

◎: この講義・演習・実習と最も関連があるDP
○: この講義・演習・実習と関連があるDP

到達目標

① 暮らしを理解するとともに、暮らしが健康に与える影響を理解する。
② 地域・在宅看護論の対象と看護の基盤となる概念を理解する。
③ 地域で生活する人々と、その家族について理解する。
④ 生活に必要なライフライン、手段、ソーシャルサポート等について理解する。

授業概要

地域で生活している人々の生活と、生活を共にする家族について整理する。
生活に必要なライフラインと、生活するために必要な手段、地域を見守るソーシャルサポートについて、
各々地域の特徴を踏まえて学ぶ。

評価方法

フィールドワーク(30%)・定期試験(70%)
試験に関するフィードバックは掲示で行う

予習・復習時間

【予習】1.9h
【復習】1.9h

教科書

地域・在宅看護の基盤(医学書院)第7版　2026

参考書

渡辺裕子:家族看護学を基盤とした在宅看護論Ⅰ(概論編) 第 6 版,
日本看護協会出版会, 地域・在宅看護論(医学書院)2025
国民衛生の動向 2025/2026(厚生統計協会)

オフィスアワー 連絡先

佐藤 光栄　9:00 ～ 17:00 但し水曜日以外 (場 所) 研究室
sato.mitsue@kdu.ac.jp　メール等でアポイントをお願いします。
相原 綾子　9:00～17:00(場 所)研究室

実 施 回	第1回	実 施 日	2026/05/28 (木)	時限	3	班	
授業計画	在宅看護の目的と特徴 ①在宅看護について自分なりのｲﾒｰｼﾞを持てる。 ②「暮らす」ということ、「生活者」を説明できる。 ③在宅看護が担う役割を説明できる。	予　習	教科書　序章 P1～12・第1章14～27を読んでおくこと				
		復　習	自分が暮らしていくために必要なこと、また身近な人や地域に暮らす人々の語りや暮らしについて考え、生活者とはについて考える。				
		キーワード	在宅看護、地域看護、暮らし、生活者				
授業形態	講義	担当	佐藤				

実 施 回	第2回	実 施 日	2026/05/28 (木)	時限	4	班	
授業計画	在宅看護の目的と特徴 ①暮らし・生活についてのインタビューしたい方を想定し インタビュー内容について検討し、インタビューガイド を作成する ②対象者と家族の「暮らし・生活」の視点が、在宅看護に おいて重要なことを説明できる。 ③インタビューにおけるマナー、態度についてグループワ ークを行う。	予　習	教科書 P36～55を読んでおくこと				
		復　習	教科書 P27のworkと29～33演習 をまとめること				
		キーワード	在宅看護、地域看護、暮らし、生活者				
授業形態	講義	担当	佐藤, ○相原				

実 施 回	第3回	実 施 日	2026/06/11 (木)	時限	2	班	
授業計画	在宅看護の目的と特徴 ①暮らし・生活についてのインタビュー結果の発表。 ②発表内容について投票する。	予　習	教科書 P36～55を読んでおくこと				
		復　習	教科書 P29～33の演習をまとめること				
		キーワード	在宅看護の役割、地域、暮らし、生活者				
授業形態	講義	担当	佐藤, ○相原				

実 施 回	第4回	実 施 日	2026/06/18 (木)	時限	2	班	
授業計画	在宅看護の対象者（個人） ①対象者の特徴が理解できる。 ②住まい方と健康について理解できる。 ③対象者への支援について理解できる。	予　習	教科書 A：第3章P64～102を読んでおくこと				
		復　習	教科書 P102のworkをまとめること				
		キーワード	在宅療養生活、在宅看護提供方法、セルフケア、対象者への支援				
授業形態	講義	担当	佐藤				

実 施 回	第5回	実 施 日	2026/06/18 (木)	時限	3	班	
授業計画	在宅看護の対象者（家族） ①対象者の特徴が理解できる。 ②住まい方と健康について理解できる。 ③家族への支援について理解できる。	予　習	教科書 A：P83～97～102を読んでおくこと				
		復　習	教科書 P103～109の演習をまとめること（家族）				
		キーワード	在宅療養生活、在宅看護提供方法、セルフケア、家族への支援				
授業形態	講義	担当	佐藤				

実 施 回	第6回	実 施 日	2026/06/25 (木)	時限	2	班	
授業計画	地域の特性 ①対象者が生活する地域の特性を説明できる。 ②地域を理解するための情報収集と枠組みを説明できる。	予　習	教科書P44～55 を読んでおくこと				
		復　習	教科書 P57～61演習をまとめること				
		キーワード	地域社会、地域アセスメント、コミュニティケア、システム				
授業形態	講義	担当	佐藤, ○相原				

実 施 回	第7回	実 施 日	2026/07/02 (木)	時限	2	班	
授業計画	地域包括ケアシステム ①地域包括ケアを説明できる。 ②地域包括ケアシステムが理解できる。 ③対象者のケアニーズに応じた在宅看護の提供を説明 できる。	予　習	教科書P44～55 を読んでおくこと				
		復　習	P55 workをまとめておくこと				

		キーワード	地域包括ケア、地域包括ケアシステム、地域共生社会
授業形態	講義	担当	相原

実 施 回	第8回	実 施 日	2026/07/09 (木)	時限	2	班	
授業計画	まとめ ①在宅看護の目的・特徴・対象者・地域特性・看護師の 役割について説明できる。 ②在宅看護における看護師の倫理	予　習	教科書　第5章 P160～184を読んでおくこと				
		復　習	教科書 P183workとP29～33の演習をまとめること				
		キーワード	在宅看護実践の場、多職種連携・協働				
授業形態	講義	担当	佐藤				